

福島第一原子力発電所の状況

2016年3月17日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/17 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.5 m ³ /h	14.6	0.39 kPa g	A系： 0.01 vol %
		炉心スプレイ系：約 1.9 m ³ /h			B系： - vol %
2号機	淡水 注入中	給水系：約 1.9 m ³ /h	19.5	5.13 kPa g	A系： 0.04 vol %
		炉心スプレイ系：約 2.6 m ³ /h			B系： 0.03 vol %
3号機	淡水 注入中	給水系：約 2.1 m ³ /h	17.4	0.26 kPa g	A系： - vol %
		炉心スプレイ系：約 2.5 m ³ /h			B系： - vol %

作業に伴いデータ欠測

<3号機>

・原子炉格納容器ガス管理システムについては、3/17 9:30 より特定原子力施設に係る実施計画「特定原子炉施設の保安」第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、フレキシブルチューブおよび樹脂製ホースの鋼管化作業を開始。

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (3/17 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	13.9
2号機	循環冷却システム	運転中	23.7
3号機	循環冷却システム	運転中	20.8
4号機	循環冷却システム	運転中	9.4

各号機 SFP および原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (3/17 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中 ^{*1}	停止中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 4. その他 >

- ・2014/6/2 ~ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要な工事が完了。
- ・2015/5/27 ~ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始
- ・2016/3/18 ~ 雑固体廃棄物焼却設備については、焼却試験などを行い、機能・性能を確認できたことから、当該設備の焼却運転を開始予定。

[1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/5/15 6:45 ~ 5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
- 7/17 7:06 ~ 7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

【サブドレン他水処理施設の状況】

・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17～ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から 24 時間連続運転に切り替え。

- ・一時貯水タンクEの当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/10]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/17 10:15 から海洋への排水を開始。
- ・一時貯水タンクFの当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/12]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/18 に海洋への排水を実施予定。

【地下水バイパスの状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

【1～3号機放水路の状況】

1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム 137 の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

・3/15 採取した分析結果は、3/14 採取した分析結果より上昇しているが、降雨の影響による 一時的な上昇であると推定。引き続き、監視を継続していく。

3/16 採取した分析結果は、3/15 採取した分析結果よりも低下していることを確認。

【H4、H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・3/15 に排水路から採取した分析結果のうち、構内側溝排水放射線モニタ近傍の分析結果が、前回値(3/14 採取)と比較して上昇していることを確認。

	<セシウム - 134 >	<セシウム - 137 >	<全ベータ >
3/14 採取	検出限界値未満	検出限界値未満	検出限界値未満
	(検出限界値:2.8 Bq/L)	(検出限界値:3.0 Bq/L)	(検出限界値:4.2 Bq/L)
3/15 採取	14 Bq/L	66 Bq/L	170 Bq/L
3/16 採取	検出限界値未満	検出限界値未満	検出限界値未満
	(検出限界値:2.2Bq/L)	(検出限界値:3.4Bq/L)	(検出限界値:4.6Bq/L)

3/16 採取した分析結果は、通常の変動範囲内へ低下したことを確認。

・その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

・3/1 に採取した地下貯水槽 No.1周辺の観測孔 A11～17 の地下水を分析した結果、前回値(2/2 採取)の全ベータ放射能が ND(ND 値 22Bq/L)であったのに対し、最大で 200Bq/L に上昇していることを確認。なお、当該観測孔は3年前に地下貯水槽からの漏えいが確認された以降、NDだったが、全ベータ放射能の上昇が確認されたことから、漏えいの可能性も含めて調査を実施していく。

<最新のサンプリング実績>

・3/16 に採取した地下貯水槽観測孔(A1 からA19)の全ベータ放射能を分析した結果、前回値(3/14 採取)と比較して有意な変動はなかった。引き続き、地下貯水槽観測孔について監視を強化するとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していく。

以上